

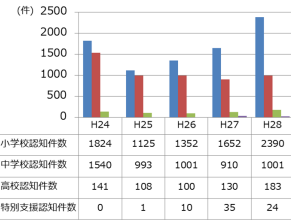
課題2 豊かな心と自己実現を図る力の育成

〇いじめを許さない集団づくりと不登校児童生徒が生じない環境づくり

- ①いじめに関する情報を共有し、いじめを許さない集団づくりに努める。(幼・小・中・高・特)
- ②不登校児童生徒が生じない環境づくりに努め、再登校や将来の社会的自立を果たせるよう、組織的・計画的に支援する。(小・中・高)

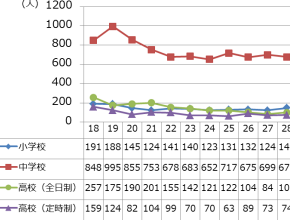
山梨県いじめの認知件数の推移

文部科学省 平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

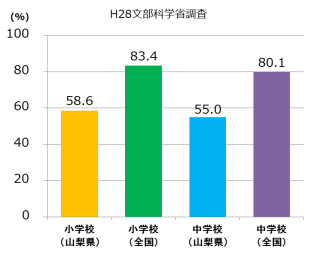


山梨県不登校者数の推移

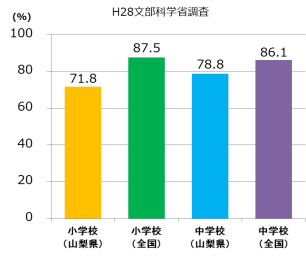
文部科学省 平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査



いじめ問題に対する校内研修の実施率



いじめ防止基本方針の見直しの実施率



〇いじめを許さない集団づくり

- いじめの防止等の対策のための組織を活用し、学校いじめ防止基本方針について、国、県の改定内容を基に点検・改定するとともに、児童生徒や保護者へ周知する。(小・中・高・特)
- いじめを許さない集団づくりに関する研修を校内研修計画に位置付ける。(幼・小・中・高・特)

〇不登校児童生徒が生じない環境づくり

- 個々の不登校児童生徒に応じた支援計画を作成し、関係機関等と連携して支援する。(小・中・高)
- 不登校児童生徒が生じない環境づくりに関する研修を校内研修計画に位置付ける。(小・中・高)

3 豊かな心と自己実現を図る力を育成します

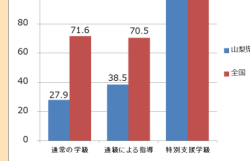
課題3 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実

〇教員の専門性の向上と「個別的教育支援計画」の作成・活用

特別支援教育に関する専門性の向上を目指すとともに、特別な教育的支援の必要な子供の「個別的教育支援計画」を作成・活用し、特別支援教育の充実に努める。(幼・小・中・高・特)

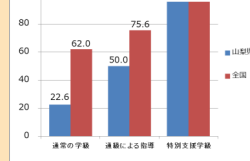
「個別的教育支援計画」の作成率(小学校)

文部科学省 平成28年度特別支援教育体制整備状況調査



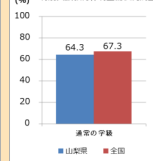
「個別的教育支援計画」の作成率(中学校)

文部科学省 平成28年度特別支援教育体制整備状況調査



「個別的教育支援計画」の作成率(高校)

文部科学省 平成28年度特別支援教育体制整備状況調査



〇教員の専門性の向上と「個別的教育支援計画」の作成・活用

- 障害に関する知識や配慮等について正しい理解と認識を深め、学校として組織的な対応を行うために、各学校において研修等を実施する。(幼・小・中・高・特)
- 「個別的教育支援計画」の作成の意義や活用方法について理解を深め、作成・活用し、切れ目のない支援を行う。(幼・小・中・高・特)

5 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実に向けて取り組みます

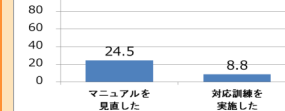
課題4 子供たちが安全で安心して生活できる環境づくり

〇様々な状況を想定した学校の安全管理体制の確立

地域と連携し危機管理マニュアルの見直し等安全管理体制に万全を期し、子供たちが安心して生活できる環境づくりに努める。(幼・小・中・高・特)

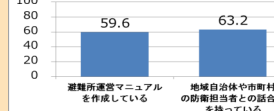
ミサイル発射時における対応状況

平成29年度文部科学省調査(山梨県小中学校)



避難所運営・対応に関する状況

山梨県 平成29年度地震防災に関する調査(公立・私立高校、特別支援学校)



〇様々な状況を想定した学校の安全管理体制の確立

- ミサイル発射時なども想定に入れた「学校危機管理マニュアル」の見直しを行う。(幼・小・中・高・特)
- 防災に関する教職員の研修を定期的実施する。(幼・小・中・高・特)

6 子どもたちが安全に安心して学ぶことができる教育環境づくりに取り組みます

山梨県教育委員会
Yamanashi Prefectural Board of Education

山梨県甲府市丸の内一丁目6-1
電話 055-237-1111(代表)
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/index.html>

山梨県学校教育指導重点



山梨県学校教育指導重点とは

新やまなしの教育振興プラン

やまなし教育大綱

山梨県の教育を推進するための基本方針であり、教育の基本理念や施策の方針を示している。

山梨県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や施策の根本となる方針を定めている。

山梨県学校教育指導重点

平成30年度学校教育指導重点作成に当たって

- より実効性のある取組とするため、喫緊の教育課題を大別し、新やまなしの教育振興プランの下に、6つの「指導重点項目」をまとめました。
- 指導重点項目は、平成29年度に残された課題と新たに表れた課題を改善するための「目標」と「主な取組」で構成されています。

全体概念図

カリキュラム・マネジメントの充実 (教育課程の編成・評価・人的物的環境の整備)	
教育課題1 ●新しい時代に必要となる資質・能力の育成 → 振興プラン柱1, 2, 4 指導重点項目 ○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成 ○体力の向上と健康教育の推進	教育課題2 ●豊かな心と自己実現を図る力の育成 → 振興プラン柱3 指導重点項目 ○いじめを許さない集団づくりと不登校児童生徒が生じない環境づくり
教育課題3 ●一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実 → 振興プラン柱5 指導重点項目 ○教員の専門性の向上と「個別的教育支援計画」の作成・活用	教育課題4 ●子供たちが安全で安心して生活できる環境づくり → 振興プラン柱6 指導重点項目 ○様々な状況を想定した学校の安全管理体制の確立

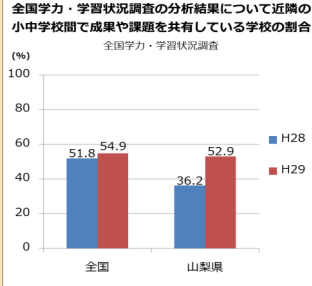
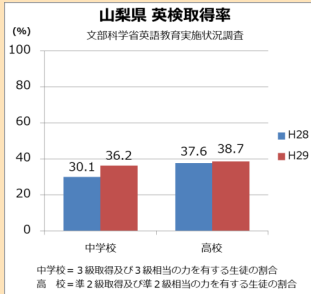
*カリキュラム・マネジメントとは、教育課題改善のために学校の教育課程を効果的に管理・運営していくことです。

課題1 新しい時代に必要となる資質・能力の育成

重点項目・目標

○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成(教育課程の編成と実施)

- ①外国語教育を充実させ、小学校では児童のコミュニケーションの基礎を養い、中学校・高校では生徒の英語力の向上を図る。(小・中・高)
- ②学力向上への取組や生徒指導等の成果や課題を共有し、共通の課題の改善に向けた小中連携教育を推進する。(小・中)
- ③ICTを活用した教育を充実させ、情報活用能力を養う。(高・特)

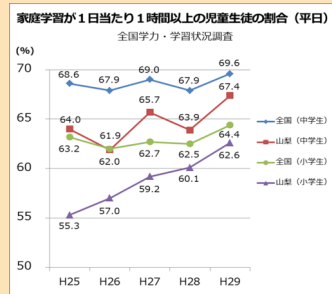
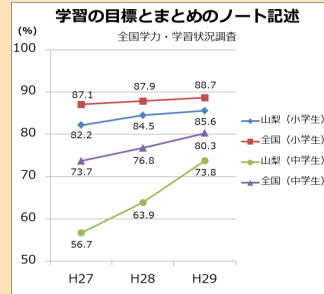


関連データ

重点項目・目標

○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成(学習指導の充実)

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究に取り組むとともに、「やまなしスタンダード」に基づいた授業実践を進めることで授業の質的向上に努め、確かな学力の育成を図る。(幼・小・中・高・特)
- ②『家庭学習実践事例集』を参考に、教員間で家庭学習への取り組み方について共通理解を図ったうえで全校体制で実施し、家庭学習の定着を促進する。(小・中)

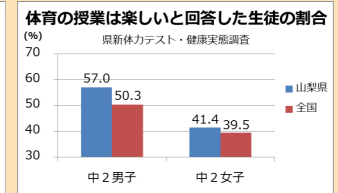
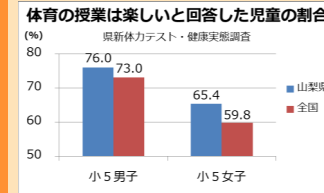


関連データ

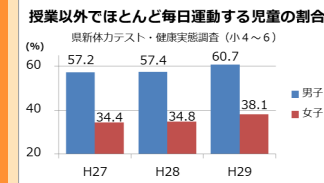
重点項目・目標

○体力の向上と健康教育の推進

- ①体育・保健体育科において、基礎的な運動能力の育成を図るとともに、体育的行事等の特別活動や休み時間、部活動等、学校教育活動を相互に関連させながら実践し、体力の向上に努める。(小・中・高・特)
- ②「食」、「安全」、「心身の健康の保持増進」に関する指導を相互に関連させながら実践し、健康教育の一層の充実を図る。(小・中・高・特)



関連データ



主な取組

○系統的な外国語教育の推進

- ・外国語教育において、中学年では「聞くこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」の3領域、高学年では「読むこと」、「書くこと」を加えた5領域の授業を着実に実施する。(小)
- ・外国語科において、CAN-DOリストを基にした評価を実施する。(中・高)
- ・英検等の検定試験の受検を推奨する。(中・高)

○同一中学校区における小中連携教育の推進

- ・学力向上のため、小・中学校で全国学力・学習状況調査の結果を共有し、共通の課題を改善するための取組を実施する。(小・中)
- ・教科の教育課程の接続を意識した授業改善に向けて、小・中学校の教員が合同で参加する研究会等を開催する。(小・中)
- ・小・中学校で生徒指導上の課題を共有し、課題を改善するための協議を行い、取組を実施する。(小・中)

○ICTを活用した教育の推進

- ・情報モラルの涵養を図りながら、情報を活用して問題を発見・解決する学習活動を実施する。(高・特)

プラン

1 世界に通じ、社会を生き抜く力を育成します

主な取組

○授業の質的向上による確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「深い学び」の視点から教材や学習過程等について研究し、実践に取り組む。(幼・小・中・高・特)
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、子供の学びを見取る視点や方法を研究し、日常の授業改善に生かす。(幼・小・中・高)
- ・「一校一実践・一人一実践」の取組を生かし、「やまなしスタンダード」1目標の明示、「6 振り返りの実施」について、ノートに記述させる等、効果的な方法を工夫する。(小・中)

○家庭学習定着の推進

- ・家庭学習の内容について、下校前に児童生徒に理解させる等、学習に確実に取り組めるように指導する。(小・中)
- ・『家庭学習実践事例集』を参考にして学校全体の取組を決め、指導の重点を教職員間で共通理解して実施する。(小・中)
- ・家庭学習に関して保護者等を交えた学習会等を実施する。(小・中)



プラン

2 確かな学力と自立する力を育成します

主な取組

○「健康・体力づくり一校一実践運動」、体力テストの結果に基づく授業改善

- ・運動習慣定着につながる取組内容とし、運動を楽しみながら体力向上を目指す。(小)
- ・保健体育科の授業と他教科や教科外活動を関連させて、計画的に継続して行う。(中・高)
- ・体づくり運動領域を中心に、課題となっている体力の向上を意図した運動を、ゲーム性を持たせるなどして楽しみながら継続して行う。(小)
- ・体育理論で習得した知識を各運動領域で活用する。(中・高・特)

○『生きる力』を育む保健教育の手引き』の活用、「食育推進一校一実践」及び食育の推進

- ・保健教育を各教科や特別活動、総合的な学習の時間等と相互に関連させて実践する。(小・中・高・特)
- ・食に関する課題を改善するために、実情に応じた具体的な目標を設定し計画的に取り組む。(小・中)
- ・朝食摂取率を上げるために、家庭と連携した取組を推進する。(小・中)



プラン

4 健康で豊かな生活を営むことができる「やまなしスポーツ」を創出します